

## 2

### EU 共通農業政策（CAP）に関する調査・動向分析

#### 1. 調査の概要

- (1) 調査項目 …p.108
- (2) 調査対象国の農業概況 …p.111
- (3) 調査対象国のCAP予算額（2023年～2029年）の比較 …p.132

## 本章で設定した調査項目

- 本章においては、CAP戦略計画における取組実績を調査すると共に、農村振興施策のうち中山間地域への支払いであるANC支払いに加え、世代交代施策である青年農業者所得支持（CIS-YF）及び青年農業者・新規就農者・農村事業開業（INSTAL）に焦点を当てた調査を実施した。
- なお、いずれの施策についても、各国が導入している中山間地域ないし世代交代むけの施策のうちの1つであることから、今年度の調査においては、調査対象とする地域を選定の上、地域で導入されている施策全体を分析している。調査対象国は以下のとおり。

### 各国で導入されているCAP戦略計画の分析

- 各国で導入されているCAP戦略計画の進捗状況を取りまとめると共に、CAP農村振興施策の内、関連する中山間地支払い・世代交代施策の調査を実施

<調査対象国>

	フランス	ドイツ	オーストリア	ポーランド	スペイン	イタリア	オランダ
CAP戦略計画への取組状況、実績	○	○				○	○
中山間地域支払い	○	○	○	○	○		
世代交代施策	○	○	○	○	○		



### 次期CAP（2028年～）の分析

- 2025年度中に公表された次期多年度財政枠組（MFF）、CAP規則案の概要の取りまとめ

## 有識者検討委員会の実施状況

- 本章に関連しては、計3回の検討委員会を開催している。開催日および委員構成は以下に示す通り。

### 有識者検討委員会の開催

検討会	開催日	各検討会の議題
第1回検討会	2025年8月5日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査・分析方針のご共有</li><li>・ 調査の方向性に関するご相談</li><li>・ 現地調査案のご共有・ご相談</li></ul>
第2回検討会	2025年11月12日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査進捗のご共有</li><li>・ 現地調査のご相談</li></ul>
第3回検討会	2026年2月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査報告書の分析の方向性に関するご相談</li></ul>

### 有識者検討委員会の構成メンバー

有識者氏名	ご役職
石井 圭一	東北大学大学院 農学研究科 教授
石倉 研	龍谷大学 政策学部 准教授
田上 隆一	一般社団法人 日本生産者GAP協会 理事長
平澤 明彦	株式会社農林中金総合研究所 リサーチ&ソリューション第1部 理事研究員

## 現地調査の実施

- また、2025年12月3日～12月17日にかけて、フランス、ドイツ、スペイン、オーストリアの4か国へ渡航し、調査を実施した。

### 現地調査における調査項目

調査テーマ	主なヒアリング事項
中山間地施策	<ul style="list-style-type: none"><li>条件不利地域における農業の特徴、直面している課題</li><li>条件不利地域の農業者によく活用されている施策・補助金（CAP及び地域独自施策）</li></ul>
世代交代施策	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の世代交代の進捗状況や課題</li><li>農業経営の継承プロセス</li><li>世代交代の促進に寄与している施策や制度、その他の要素</li></ul>
次期CAPの内容	<ul style="list-style-type: none"><li>次期CAP案への期待や懸念、要望</li><li>世代交代戦略について、導入を検討している内容</li></ul>

## 2

### EU 共通農業政策（CAP）に関する調査・動向分析

#### 1. 調査の概要

- (1) 調査項目 …p.108
- (2) 調査対象国の農業概況 …p.111
- (3) 調査対象国のCAP予算額（2023年～2029年）の比較 …p.132

## 調査対象国における農業概況

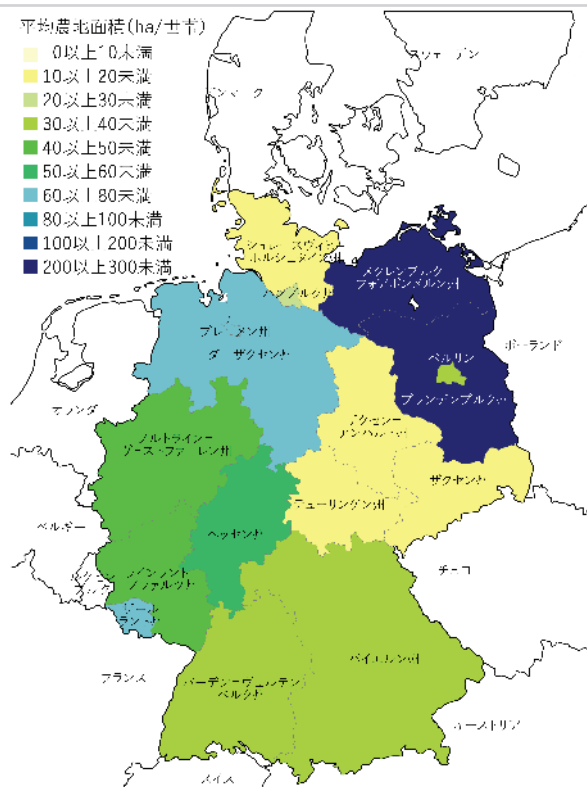
- 本事業における調査対象国の概況は以下のとおり

	ドイツ	フランス	オランダ	イタリア	オーストリア	ポーランド	スペイン	日本
農地面積 (2020年)	1,600万ha (国土の約 46%)	2,736万ha (国土の約 50%)	182万ha (国土の約 43%)	1,254万ha (国土の約 42%)	260万ha (国土の約 31%)	1,478万ha (国土の約 47%)	2,391万ha (国土の約 47%)	437万ha (国土の約 12%)
平均農地面積 (2020年)	63ha	70ha	35ha	11ha	23ha	11ha	26ha	3ha (北海道平均30ha, 都府県平均2ha)
農用地 利用内訳 (2022年)	耕地 (70.3%) 永年作物 (1.2%) 永年草地 (28.5%)	耕地 (59.8%) 永年作物 (3.7%) 永年草地 (36.5%)	耕地 (55.6%) 永年作物 (2.1%) 永年草地 (42.3%)	耕地 (63.1%) 永年作物 (5.7%) 永年草地 (31.2%)	耕地 (50.8%) 永年作物 (2.6%) 永年草地 (46.6%)	耕地 (78.8%) 永年作物 (2.7%) 永年草地 (18.6%)	耕地 (47.6%) 永年作物 (20.8%) 永年草地 (31.7%)	水田 (54.4%) 耕地 (25.8%) 永年作物 (6.1%) 永年草地 (13.6%)
農業従事者数 (2020年)	約26万人 (人口の約0.3%)	約39万人 (人口の約0.6%)	約5万人 (人口の約0.3%)	約113万人 (人口の約1.9%)	約11万人 (人口の約1.2%)	約130万人 (人口の約3.4%)	約91万人 (人口の約1.9%)	約136万人 (人口の約1.1%)
若年農家の定義	35歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	40歳未満 農業経営5年以内	45歳未満 ※新規就農者制度にお ける「青年」
若年農家の割合 (2020年)	約7%	約8%	約5%	約9%	約10%	約12%	約6%	約6.5%
農産物売上額 (2026年*)	生乳 (22.2%) 野菜 (12.2%) 畜産(豚) (12.1%)	生乳 (15.6%) 穀物 (13.0%) 畜産(牛) (12.9%) ワイン (11.7%)	生野菜 (36.5%) 乳 (21.5%) 畜産(豚) (10.2%)	野菜 (22.3%) ワイン (16.1%) 生乳 (12.1%) 果物 (10.5%)	生乳 (22.4%) 野菜 (11.8%) 畜産(豚) (11.0%) 畜産(牛) (10.9%)	生乳 (18.6%) 穀物 (16.7%) 家禽 (13.5%) 野菜 (12.0%)	野菜 (19.5%) 果物 (18.4%) 畜産(豚) (16.5%)	野菜 (24.5%) 米 (16.0%) 果物 (10.1%) 生乳 (8.8%)

## ドイツにおける農業の特徴

- ドイツの農地面積は約18万km<sup>2</sup>であり、国土面積（約35.7595万km<sup>2</sup>）の約50.4%に相当（2022年末時点）
- 農地面積比率が高く特に農業が盛んであると推察される地域は以下のとおり
  - 北部の低地（ノルトライン=ヴェストファーレン州、ニーダーザクセン州、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン州、メクレンブルク=フォアポメラニア州、ブランデンブルク州北部）
  - 中央ドイツの低地（アルトマルクやベルデ（ザクセン=アンハルト州）、ライプツィヒ湾（ザクセン州北西部及びザクセン=アンハルト州南東部）からテューリンゲン州）
  - バイエルン州（特にドナウ川南）
- ドイツでは、北部が南部と比較して農地の賃借率が相対的に高い。

### 1戸あたり農地面積の分布（2026年）



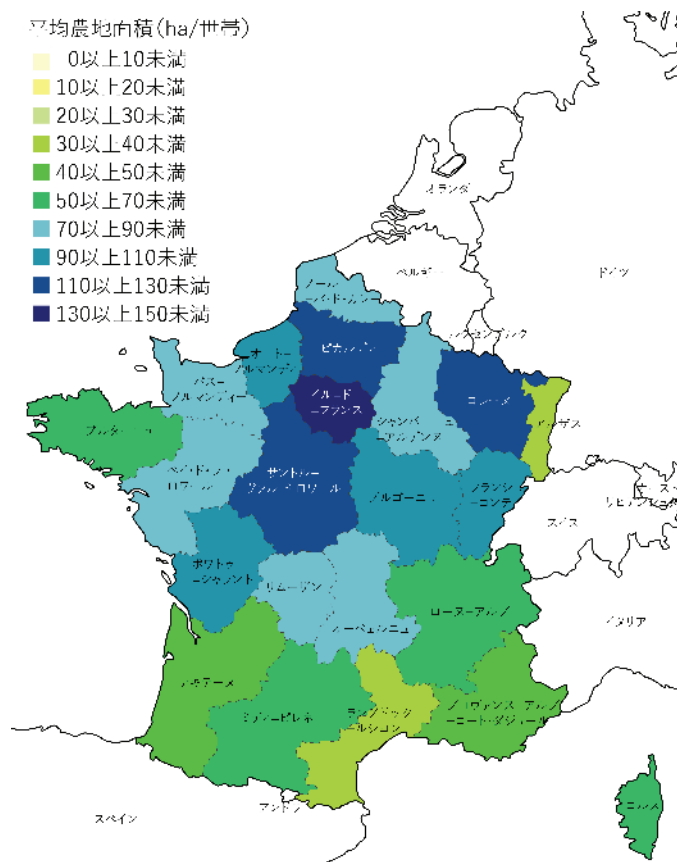
### 州別の農地面積・農業世帯数・農業世帯1戸当たりの平均農地面積（2026年）

	州	農地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)
1	バーデン=ヴュルテンベルク州	1,393,500	37,090	38
2	バイエルン州	3,100,700	82,290	38
3	ベルリン州	1,900	50	38
4	ブランデンブルク州	1,292,100	5,260	246
5	ブレーメン州	7,800	130	60
6	ハンブルク州	14,000	510	27
7	ヘッセン州	766,600	15,150	51
8	メクレンブルク=フォアポンメルン州	1,347,000	4,760	283
9	ニーダーザクセン州	2,578,500	34,180	75
10	ノルトライン=ヴェストファーレン州	1,492,300	33,680	44
11	ラインラント=プファルツ州	708,900	15,230	47
12	ザールラント州	71,400	1,020	70
13	ザクセン州	895,200	6,350	141
14	ザクセン=アンハルト州	1,148,400	4,090	281
15	シュレスヴィヒ=ホルシュタイン州	977,900	11,630	84
16	テューリンゲン州	772,600	3,610	214

## フランスにおける農業の特徴

- フランスは、2016年の行政区分変更以降、13の本土における地方（コルシカ島含む）及び6つの海外地方で構成されている
- 地方 [region]は、さらに県 [département]と細分化される。日本の市町村レベルにあたる最も規模の小さいコミュニティであるコミューン [commune]も歴史的には農村振興政策にて機能してきた背景があり、フランスの農業はかなり地域性が強い
- フランス北東部は、他の地域を比較して平均農地面積が大きい

### 1戸あたり農地面積の分布 (2020年)



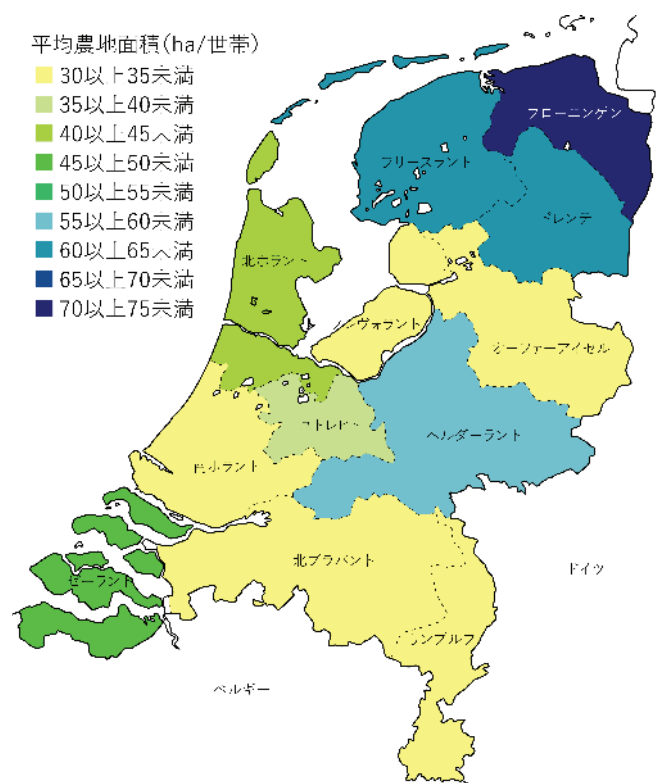
### 地域別の農地面積・農業世帯数・農業世帯1戸当たりの平均農地面積 (2020年)

地域圏	農地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)	
1	イルドフランス	563,850	4,280	132
2	サント＝ヴァル＝ド＝ロワール	2,283,230	19,200	119
3	ブルゴーニュ	1,757,710	16,060	109
4	フランシュ＝コンテ	672,740	6,630	101
5	バス＝ノルマンディー	1,191,460	16,190	74
6	オート＝ノルマンディー	760,050	7,990	95
7	ノール＝パ＝ド＝カレ	808,930	11,120	73
8	ピカルディ	1,318,730	11,450	115
9	アルザス	331,200	8,700	38
10	シャンパーニュ＝アルデンヌ	1,551,230	21,740	71
11	ロレーヌ	1,140,590	9,010	127
12	ペイ＝ド＝ラ＝ロワール	2,078,170	25,080	83
13	ブルターニュ	1,623,830	25,580	63
14	アキテーヌ	1,412,530	31,190	45
15	リムーザン	828,130	10,320	80
16	ポワトゥー＝シャラント	1,697,750	18,890	90
17	ラングドック＝ルシヨン	907,350	24,300	37
18	ミディ＝ピレネー	2,414,650	36,660	66
19	オーヴェルニュ	1,443,850	17,630	82
20	ローヌ＝アルプ	1,467,330	28,170	52
21	プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール	807,250	17,120	47
22	コルス	172,850	2,830	61
23	グアドループ	30,050	5,940	5
24	マルティニーク	21,570	2,440	9
25	フランス領ギアナ	35,580	5,030	7
26	ラ＝レユニオン	38,310	5,660	7
27	マヨット	5,740	3,810	2

## オランダにおける農業の特徴

- オランダの農地面積は、約1.81万km<sup>2</sup>であり、国土面積（約4.186万km<sup>2</sup>）の約43%に相当（2026年時点）
- 国土の約25%が海拔0m以下であるオランダでは、干拓によって造成された干拓地（ポルダー）が主要な農業地域である。国土全体が海拔323m未満の平坦な地形であり、伝統的には牧草地における酪農や集約畜産が行われているほか、施設園芸による花卉や野菜の生産も盛んである農業国である
- 近年では、経済効率・土地利用計画・自然保護の観点からポルダーの建設は控えられており、干拓地での環境保全や水域の利用と保全といったオランダ独自の環境関連施策の導入に繋がっていると推察される

1戸あたり農地面積の分布（2023年）



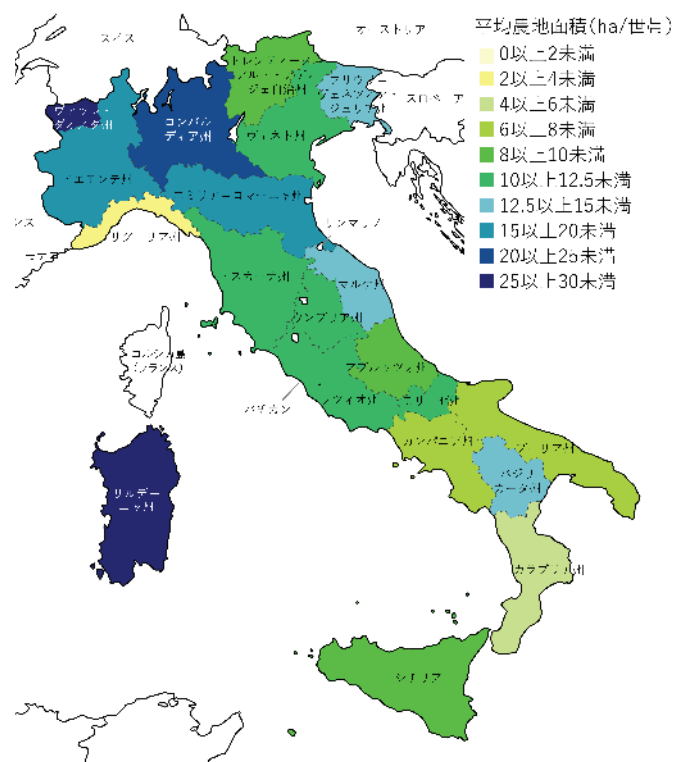
州別の農地面積・農業世帯数・1世帯あたり農地面積（2023年）

	州	農地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)
1	フローニンゲン州	171,063	2,427	70
2	フリースラント州	248,730	4,050	61
3	ドレンテ州	165,047	2,658	62
4	オーファーアイセル州	212,458	6,428	33
5	ヘルダーランド州	94,146	1,611	58
6	フレヴォラント州	252,826	8,527	30
7	ユトレヒト州	87,884	2,267	39
8	北ホラント州	144,993	3,348	43
9	南ホラント州	132,302	4,262	31
10	ゼーラント州	126,538	2,686	47
11	北ブラバント州	272,391	8,898	31
12	リンブルフ州	103,833	3,472	30

## イタリアにおける農業の特徴

- イタリア全体の農地面積は約12.5万km<sup>2</sup>であり、総面積（約30.2万km<sup>2</sup>）の約41%に相当する（2022年末時点）
- 農地面積の50%以上は山岳地帯または自然的制約のある地域に分類されている
- 各地域で多様な農業生産が行われている。主に、北部では穀物・大豆・肉・乳製品が、南部では果物・野菜・オリーブ・ワイン・デュラム小麦が生産されている
- イタリアの農場の大半は小規模な家族経営であり、1農場あたりの平均面積は約11 haである

### 1戸あたり農地面積の分布（2020年）



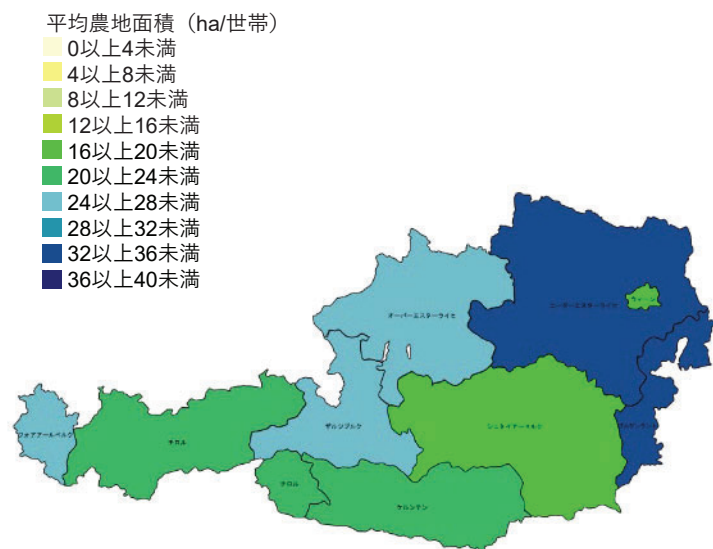
### 州別の農地面積・農業世帯数・1世帯あたり平均農地面積（2020年）

地域圏	農地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)	
1	ピエモンテ州	941,510	51,700	18
2	ヴァッレ・ダオスタ/ヴァッレ・ダオステ	61,610	2,500	25
3	リグーリア州	43,920	12,870	3
4	ロンバルディア州	1,006,980	46,890	21
5	アブルッツォ州	414,720	44,520	9
6	モリーゼ州	183,640	18,230	10
7	カンパニア州	515,540	79,350	6
8	プーリア州	1,288,210	191,430	7
9	バジリカータ州	461,870	33,830	14
10	カラブリア州	539,380	95,540	6
11	シチリア	1,342,130	142,420	9
12	サルデーニャ州	1,234,680	47,080	26
13	ボルツァーノ自治州/ボーゼン州	204,080	20,020	10
14	トレント自治州	121,790	14,240	9
15	ヴェネト州	827,110	83,020	10
16	フリウリ=ヴェネツィア・ジュリア州	224,770	16,400	14
17	エミリア・ロマーニャ州	1,044,820	53,750	19
18	トスカーナ州	640,110	52,150	12
19	ウンブリア州	295,170	26,960	11
20	マルケ州	456,360	33,800	14
21	ラツィオ州	675,120	66,330	10

## オーストリアにおける農業の特徴

- オーストリア全体の農地面積は約710万haであり、総面積（約8.4万km<sup>2</sup>）の約84.5%に相当する（2023年時点）
- 国土の西部から中部がアルプス山脈に位置するオーストリアは、大半が山岳地域に位置している。農地面積の64%、国土の81%が条件不利地域である。
- また、全農業に占める有機農地面積がEUで一番大きい。
- オーストリアの農場の大半は小規模な家族経営であり、1農場あたりの平均面積は約11 haである

### 1戸あたり農地面積の分布（2023年）



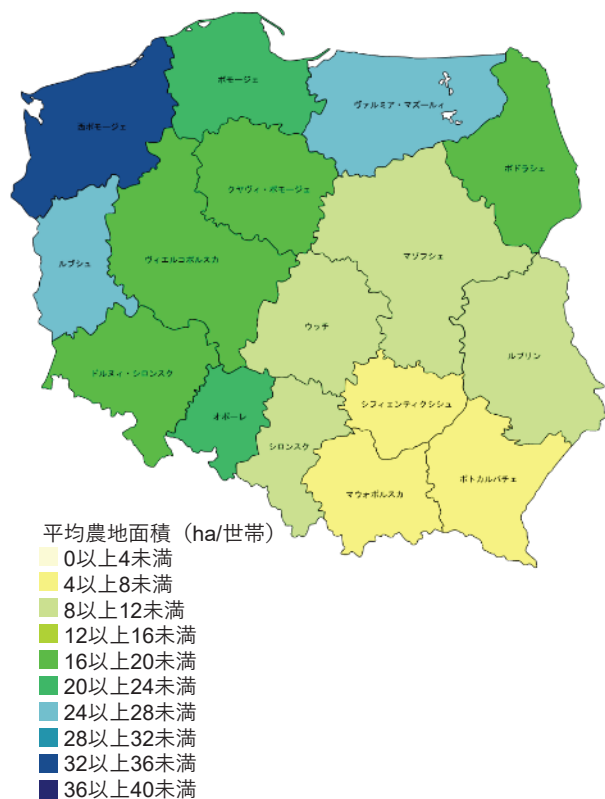
### 州別の農地面積・農業世帯数・1世帯あたり平均農地面積（2023年）

地域圏	農業利用土地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)
1 ブルゲンラント州	177,285.32	5,167	34
2 ケルンテン州	204,484.82	9,028	23
3 ニーダーエスターライヒ州	880,434.52	26,870	33
4 オーバーエスターライヒ州	499,012.40	20,503	24
5 ザルツブルグ州	161,466.17	6,652	24
6 シュタイアーマルク州	346,351.04	19,482	18
7 チロル州	226,507.02	9,788	23
8 フォアアールベルク州	69,902.48	2,673	26
9 ウィーン	6,275.22	451	14

## ポーランドにおける農業の特徴

- ポーランド全体の農地面積は約1,472.3万haであり、総面積（約31.4万km<sup>2</sup>）の約47%に相当する（2023年末時点）
- ポーランドでは、畜産が盛んであり、豚肉と乳製品の生産量は世界で見ても上位国である。主要作物は穀物、特に小麦とライ麦である。
- ポーランドの1農場あたりの平均面積は約16 haである。南部と北西部で差が大きい。

1戸あたり農地面積の分布（2023年）



州別の農地面積・農業世帯数・1世帯あたり平均農地面積（2023年）

	地域圏	農地面積 (千ha)	農業世帯数 (千ユニット)	平均農地面積 (ha/世帯)
1	ヴァルミア・マズールイ県	1,046.0	42.2	25
2	ヴィエルコポルスカ県	1,762.4	110.2	16
3	シフィエンティクシシュ県	477.0	73.0	7
4	ポトカルパチェ県	556.0	104.3	5
5	マウォポルスカ県	541.2	112.0	5
6	クヤヴィ・ポモージェ県	1,038.9	56.8	18
7	ルブシュ県	431.8	18.0	24
8	ウッチ県	974.6	111.7	9
9	ルブリン県	1,383.3	153.2	9
10	マゾフシェ県	1,974.7	200.3	10
11	ドルヌイ・シロンスク県	906.8	48.1	19
12	オポーレ県	509.8	23.8	21
13	ポドラシェ県	1,087.5	69.8	16
14	ポモージェ県	755.0	35.4	21
15	シロンスク県	371	42.4	9
16	西ポモージェ県	906.9	26.4	34

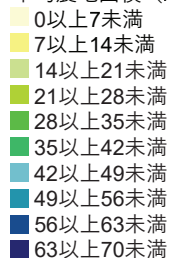
## スペインにおける農業の特徴

- スペイン全体の農業利用土地面積は約23.9万km<sup>2</sup>であり、総面積（約50.6万km<sup>2</sup>）の約47%に相当する（2020年末時点）
- 地中海式農業を営むスペインにおいては、伝統的に灌漑のための水利用・管理が進められており、灌漑の果たす役割が大きい。特に点滴灌漑（superficie de riego localizado）を用いている国としては、世界全体で見ても有数の国の1つである。灌漑農業は耕作地総面積の22.85%で実施されているが、これはスペイン全体の作物生産の65%を支えている。灌漑農業では、穀物、オリーブ、柑橘類以外の果樹、ブドウが主要な作物群である。
- スペインの農場は、州により平均農地面積の差が大きい。

### 1戸あたり農地面積の分布（2020年）



平均農地面積（ha/世帯）



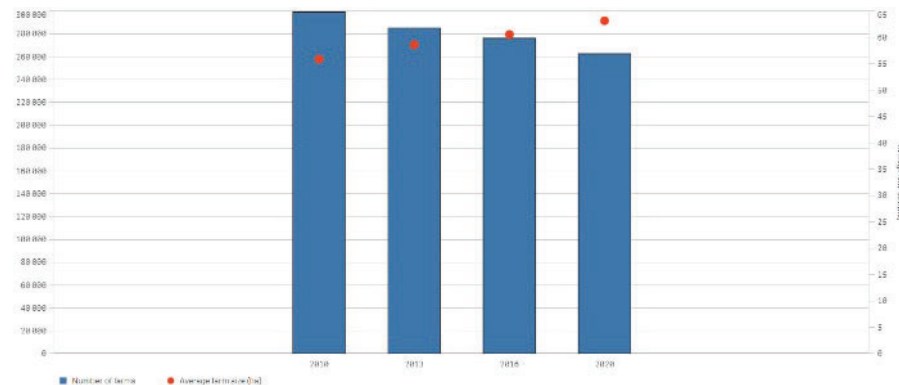
### 州別の農地面積・農業世帯数・1世帯あたり平均農地面積（2020年）

地域圏	農地面積 (ha)	農業世帯数 (世帯)	平均農地面積 (ha/世帯)
1 アンダルシア州	4,748,844.31	266,819	18
2 アラゴン州	2,217,490.13	41,254	54
3 アストゥリア州	333,188.62	15,783	21
4 バレアレス諸島州	167,530.55	9,906	17
5 カナリア諸島州	54,134.27	11,254	5
6 カンタブリア州	228,844.21	7,639	30
7 カスティーリャ・イ・レオン州	5,277,137.09	83,738	63
8 カスティーリャ・ラ・マンチャ州	4,244,352.17	112,203	38
9 カタルーニャ州	1,092,215.47	53,903	20
10 バレンシア州	589,311.09	99,857	6
11 エストレマドゥーラ州	2,785,472.24	63,695	44
12 ガリシア州	597,992.76	74,757	8
13 マドリード州	303,329.62	7,716	39
14 ムルシア州	373,048.80	24,078	15
15 ナバーラ州	511,240.51	12,738	40
16 バスク州	176,244.89	11,006	16
17 ラ・リオハ州	213,305.56	10,570	20

## 調査対象国の農業概況① 農地規模・平均農地面積

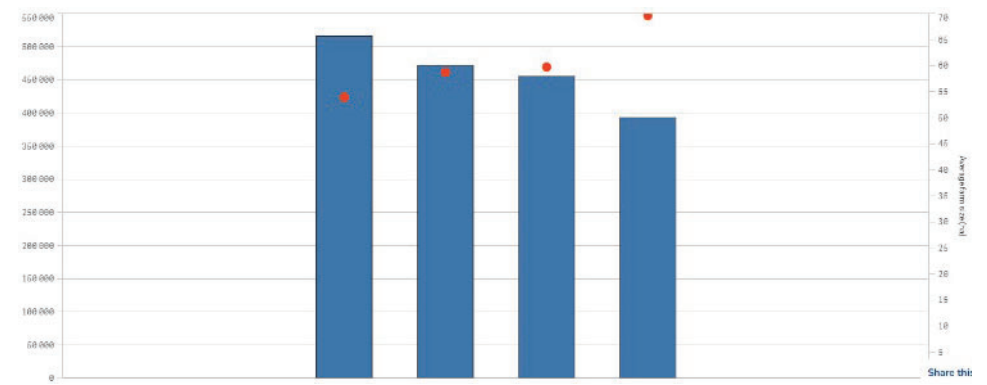
## ドイツ

- 2020年の農業従事者は約26万人であり、平均農地面積は63ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、平均農地面積は拡大



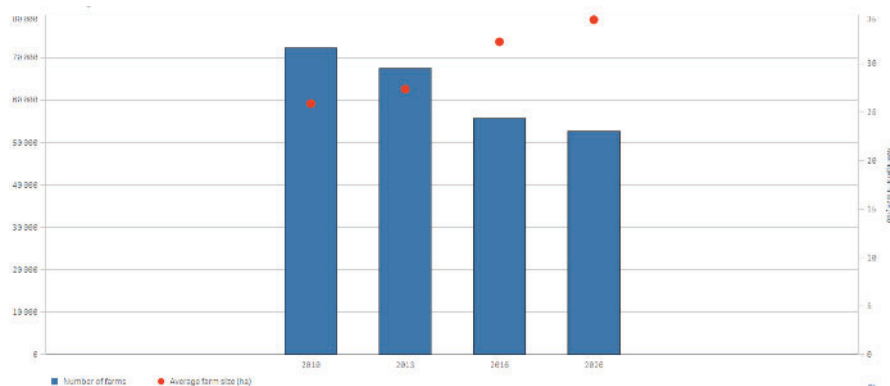
## フランス

- 2020年の農業従事者は約39万人であり、平均農地面積は70ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、平均農地面積は急拡大



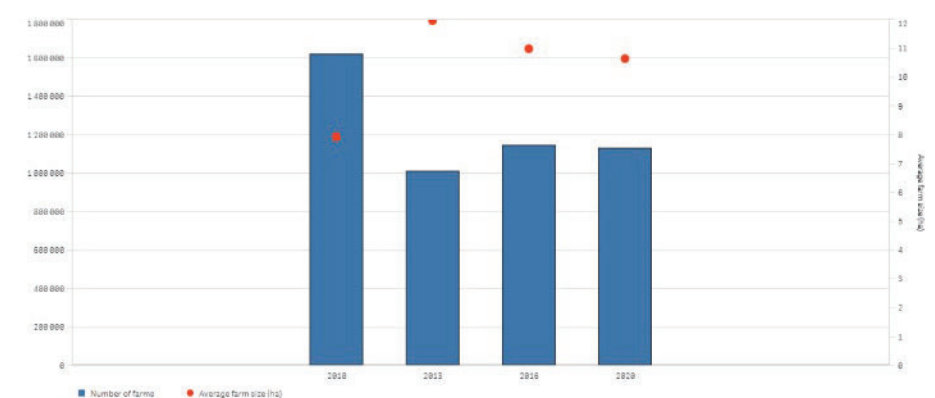
## オランダ

- 2020年の農業従事者は約5万人であり、平均農地面積は35ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、平均農地面積は拡大



## イタリア

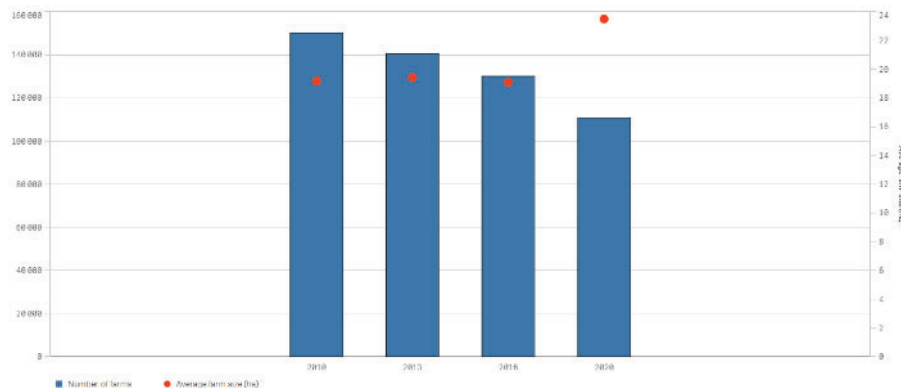
- 2020年の農業従事者は約113万人であり、平均農地面積は11ha
- 過去10年間で農業従事者は急激に減少したものの、平均農地面積は拡大



## 調査対象国の農業概況① 農地規模・平均農地面積

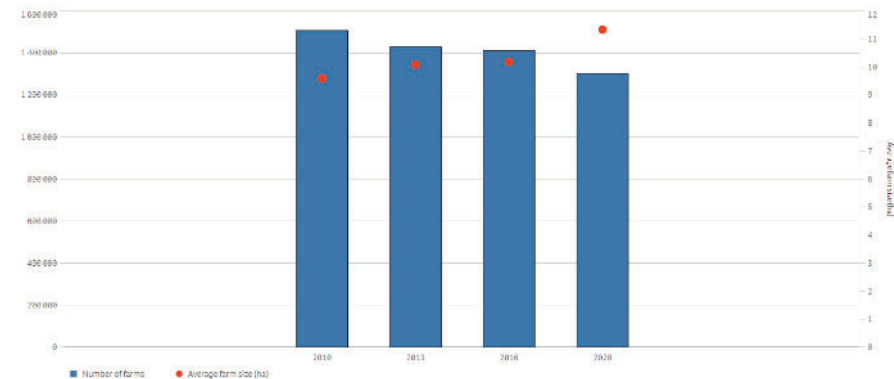
## オーストリア

- 2020年の農業従事者は約11万人であり、平均農地面積は23ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、平均農地面積は急拡大



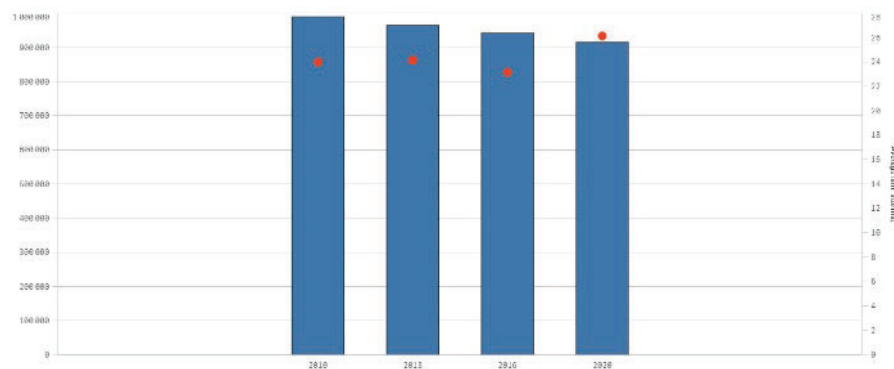
## ポーランド

- 2020年の農業従事者は約130万人であり、平均農地面積は11ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、ドイツやフランスと比較して減少幅は小さい



## スペイン

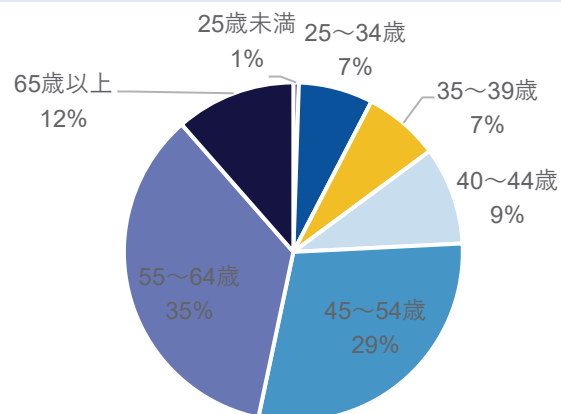
- 2020年の農業従事者は約91万人であり、平均農地面積は26ha
- 過去10年間で農業従事者は減少したものの、ドイツやフランスと比較して減少幅は小さい



## 調査対象国の農業概況② 年齢別の農業従事者の割合 (2020年)

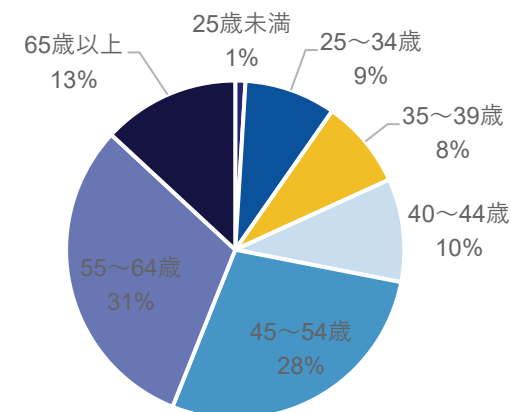
## ドイツ

- 35歳未満の青年農業者は全体の15%
- 55歳以上の農業者は全体の47%



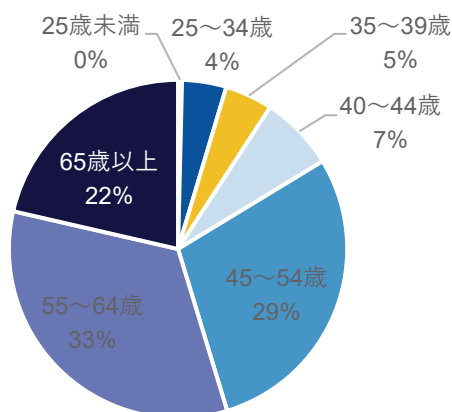
## フランス

- 40歳未満の青年農業者は全体の18%
- 55歳以上の農業者は全体の44%



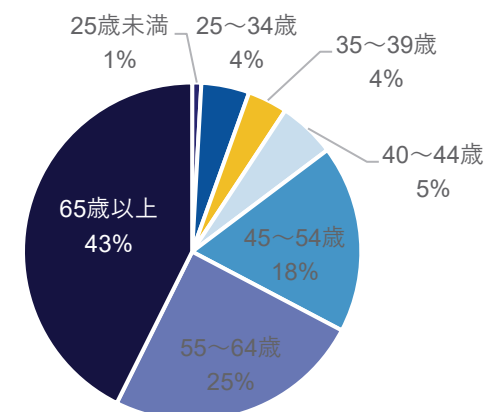
## オランダ

- 40歳未満の青年農業者は全体の9%
- 55歳以上の農業者は全体の55%



## イタリア

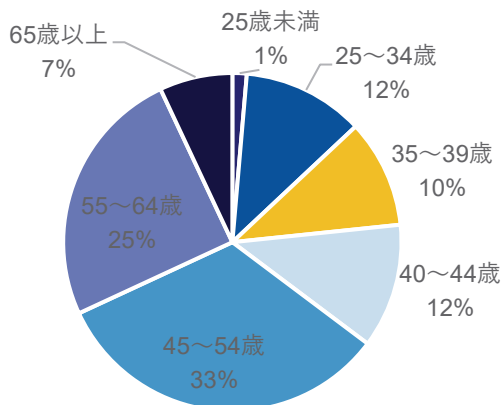
- 40歳未満の青年農業者は全体の9%
- 55歳以上の農業者は全体の68%



## 調査対象国の農業概況② 年齢別の農業従事者の割合 (2020年)

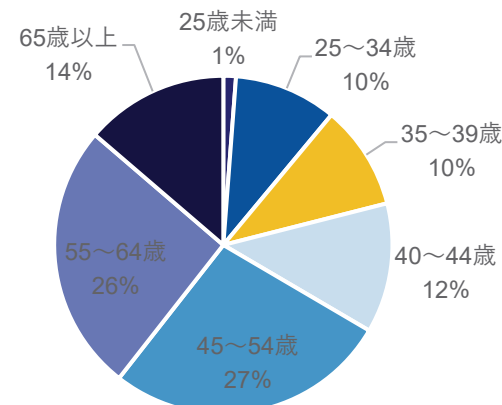
### オーストリア

- 40歳未満の青年農業者は全体の23%
- 55歳以上の農業者は全体の32%



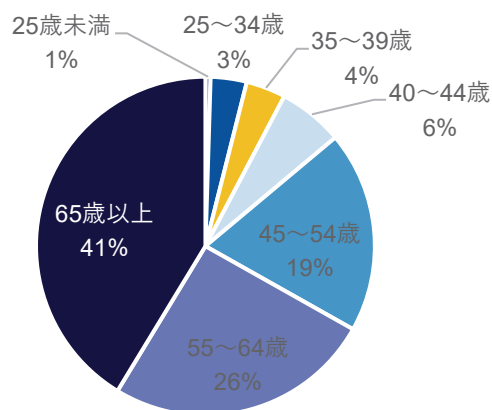
### ポーランド

- 40歳未満の青年農業者は全体の21%
- 55歳以上の農業者は全体の40%



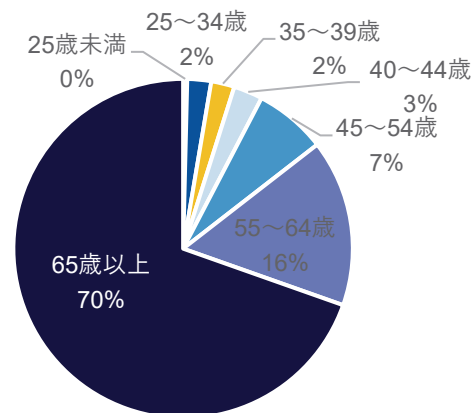
### スペイン

- 40歳未満の青年農業者は全体の8%
- 55歳以上の農業者は全体の67%



### (参考) 日本

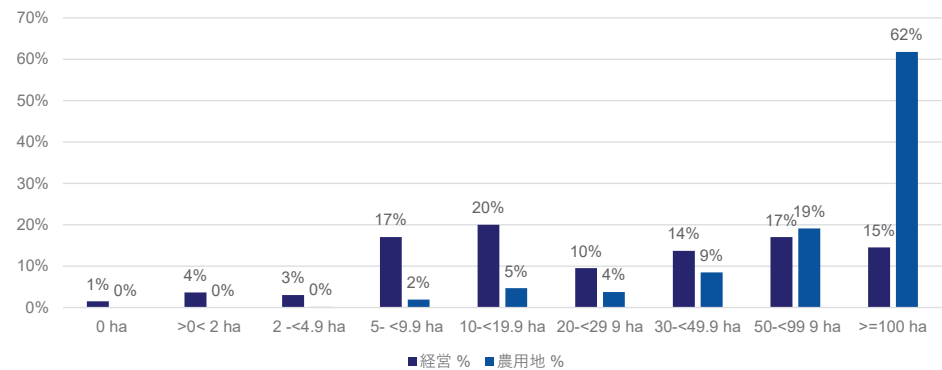
- 45歳未満の青年農業者は全体の7%
- 55歳以上の農業者は全体の86%



### 調査対象国の農業概況③ 経営規模別経営数割合 (2020年)

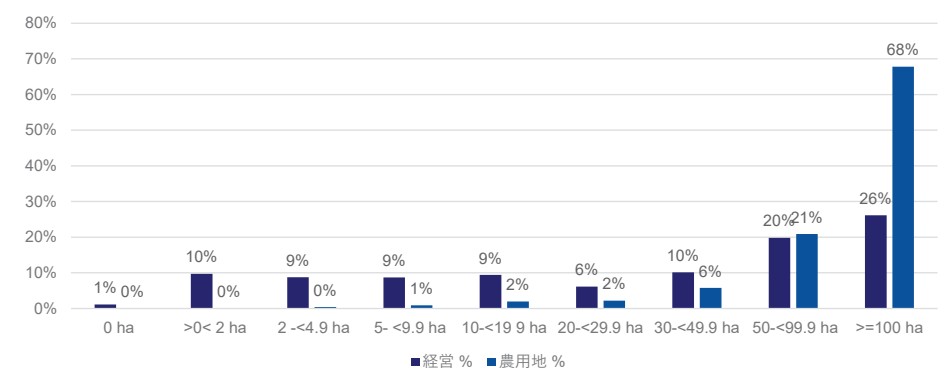
#### ドイツ

- 大規模農業者に農地が集約されている。32%を占める50ha以上の農業者81%の農地を所有



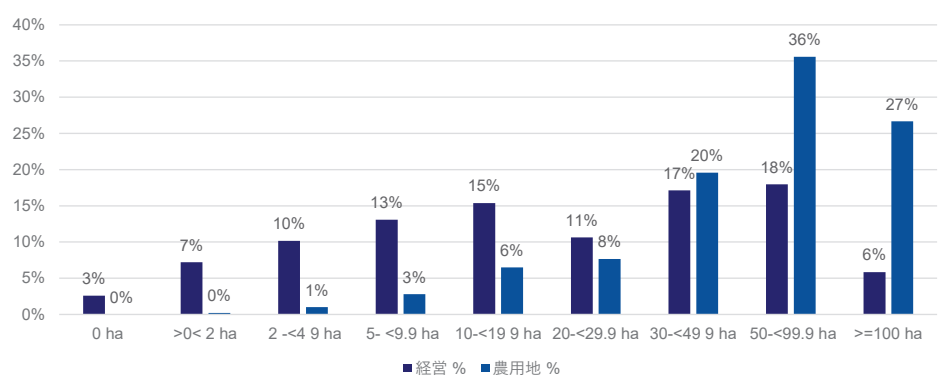
#### フランス

- 大規模農業者に農地が集約されている。46%を占める50ha以上の農業者が89%の農地を所有



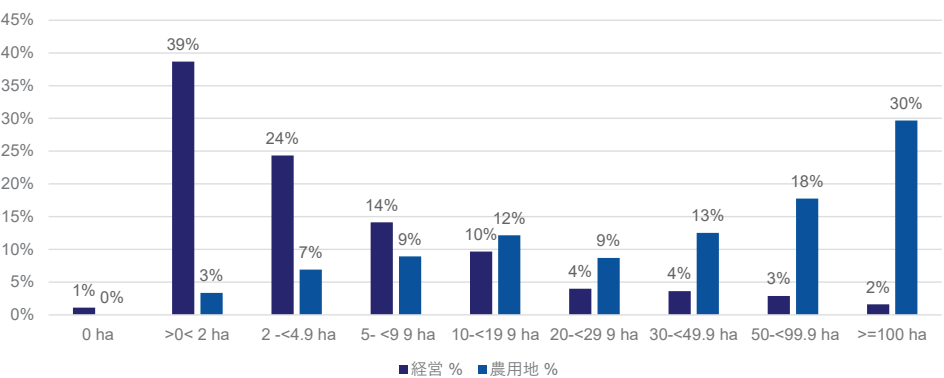
#### オランダ

- 比較的大規模農業者が多く、50ha以上がボリュームゾーンとなる。20ha以上の農業者が全体の67%を占める



#### イタリア

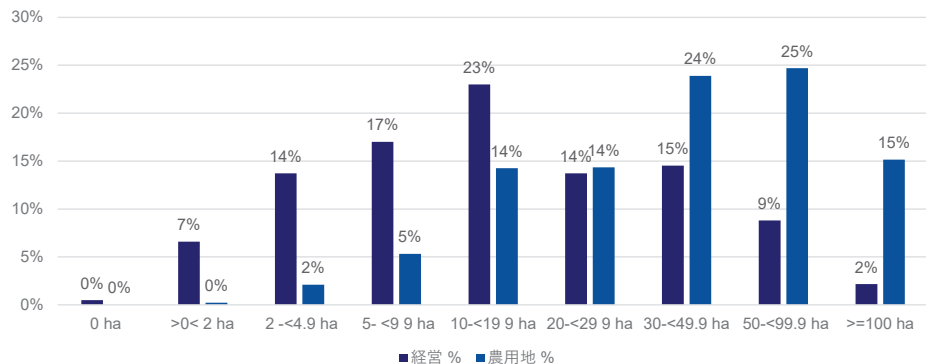
- 小規模経営が多い。2ha未満の農業者が最も多く、20ha未満に全体の87%が集中している



### 調査対象国の農業概況③ 経営規模別経営数割合 (2020年)

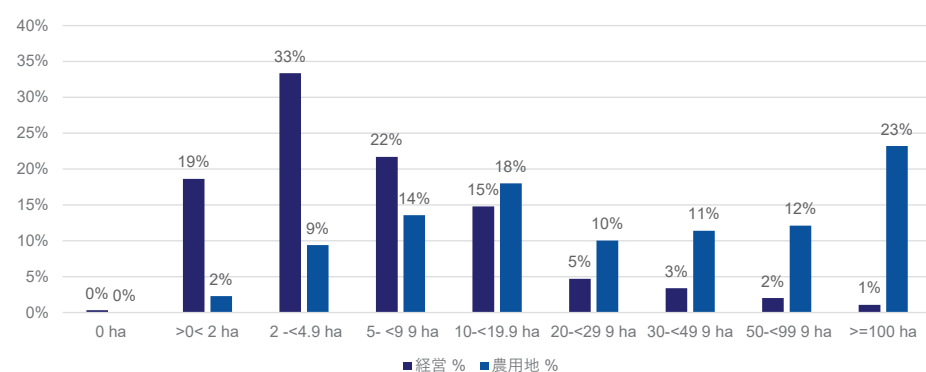
#### オーストリア

- 農業者のボリュームゾーンは10-20ha。小規模農業者が多く、20ha未満に全体の61%が集中している



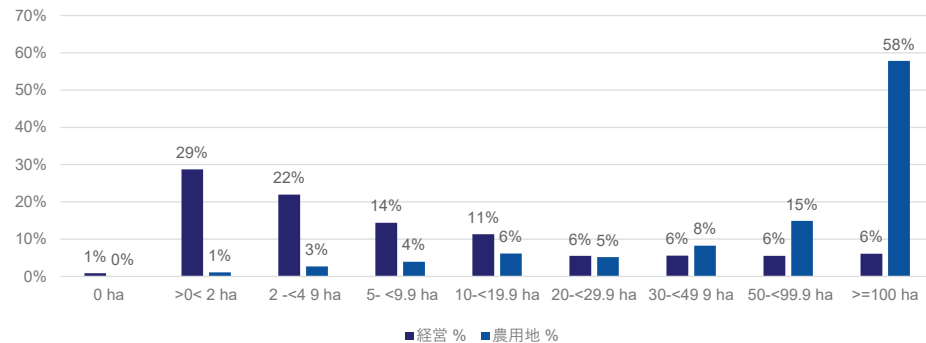
#### ポーランド

- 小規模経営が多い。5ha未満の農業者が最も多く、20ha未満に全体の79%が集中している



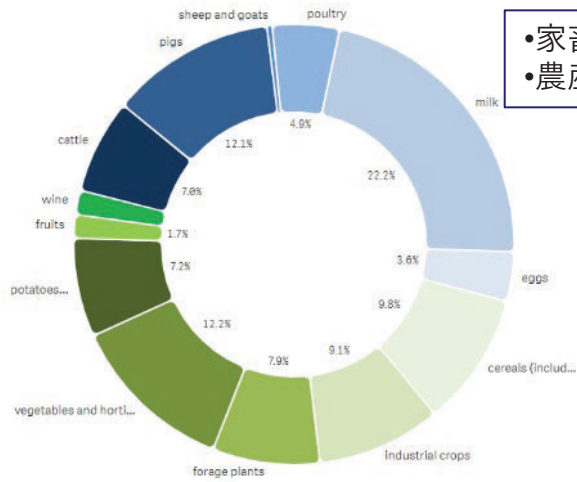
#### スペイン

- 大規模農業者に農地が集約されている。12%を占める50ha以上の農業者が73%の農地を所有



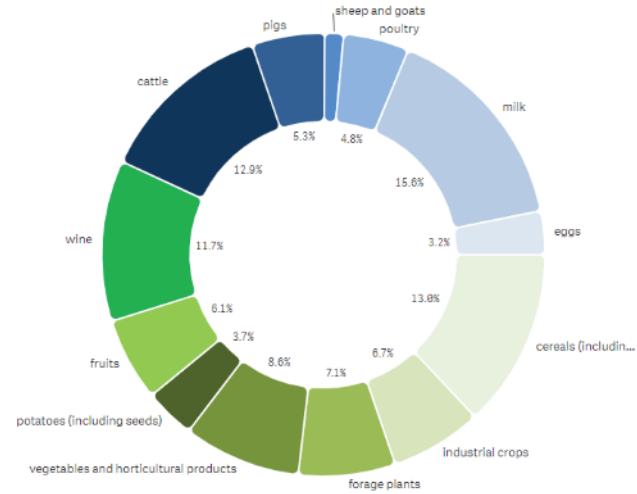
## 調査対象国の農業概況④ 調査対象国における主要な農産品 (2026年売上額ベース)

### ドイツ



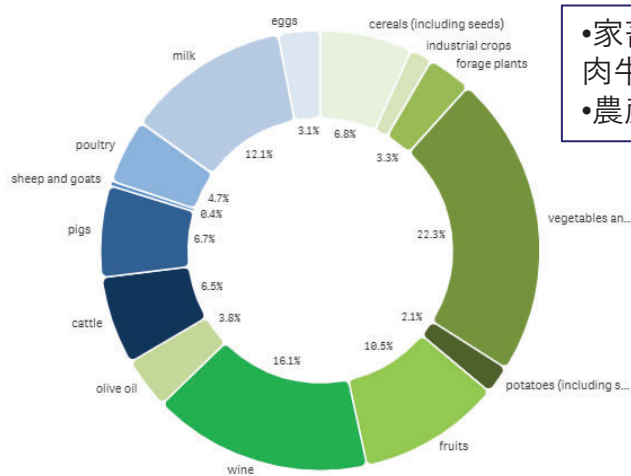
- 家畜：生乳
- 農産物：穀物、野菜

### フランス



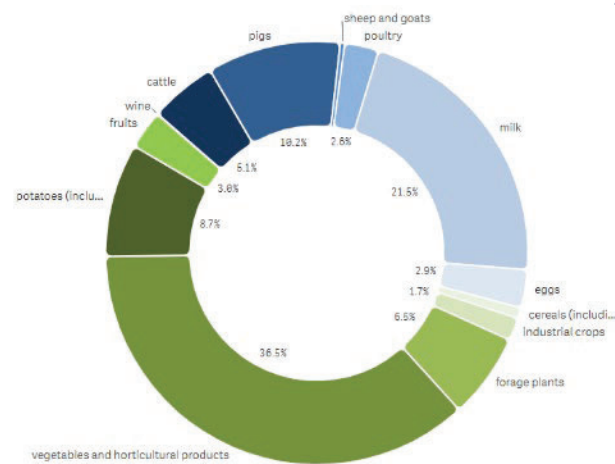
- 家畜：生乳、肉牛
- 農産物：穀物

### イタリア



- 家畜：生乳、養豚、肉牛
- 農産物：穀物

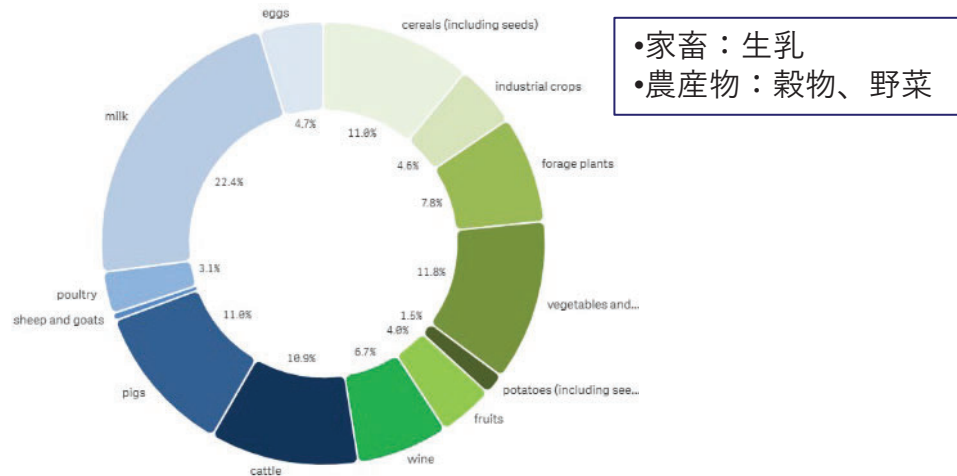
### オランダ



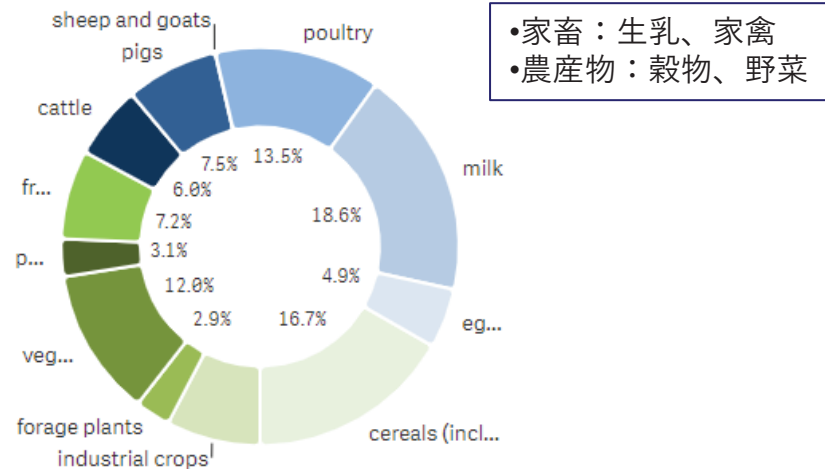
- 家畜：生乳
- 農産物：施設園芸・野菜、

## 調査対象国の農業概況④ 調査対象国における主要な農産品 (2026年売上額ベース)

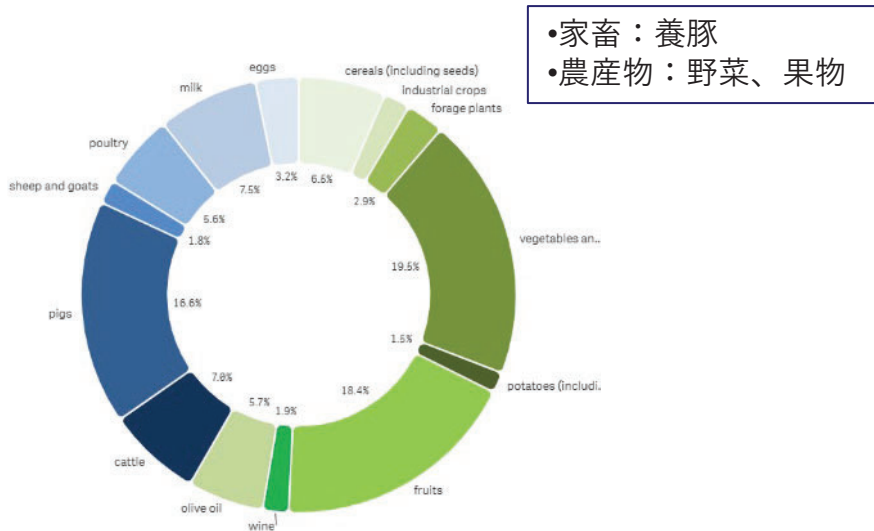
### オーストリア



### ポーランド



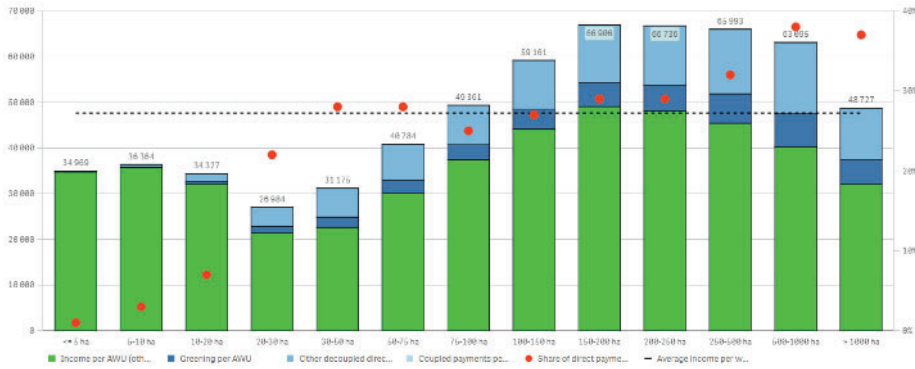
### スペイン



## 調査対象国の農業概況⑤ 農地規模別の主要な収入源 (AWU—単位当たりの所得ベース)

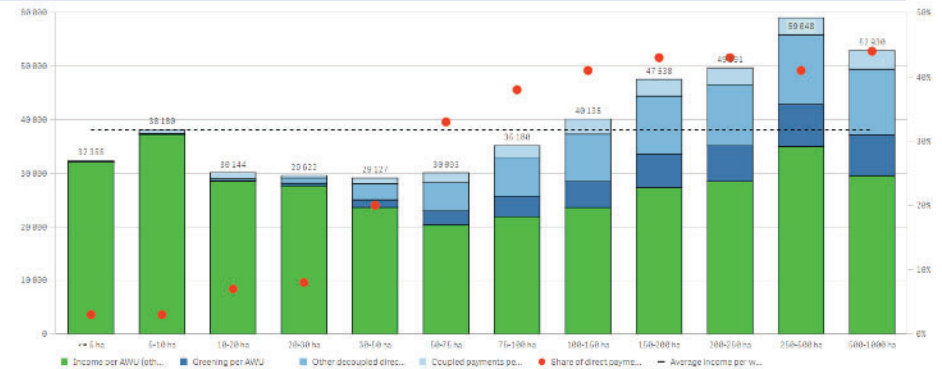
### ドイツ

- AWU当たりの所得が最も高いのは150-250haの経営体である
- AWU当たりの環境支払い、直接支払いの割合は250-1,000haの経営体が最も多い



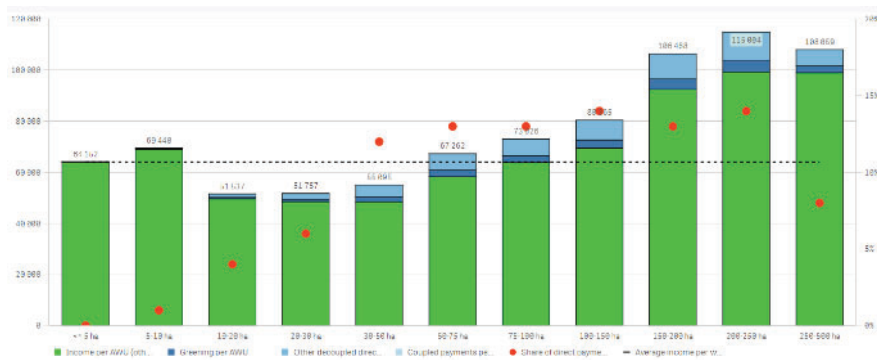
### フランス

- AWU当たりの所得が最も高いのは250-500haの経営体である
- AWU当たりの環境支払い、直接支払いの割合は150ha以上で割合が多い



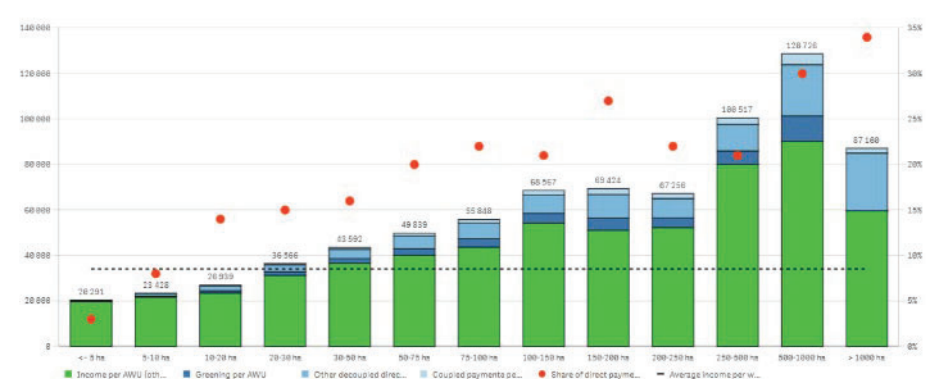
### オランダ

- AWU当たりの所得が最も高いのは200-250haの経営体である
- AWU当たりの直接支払いの割合は100-250haの経営体である



### イタリア

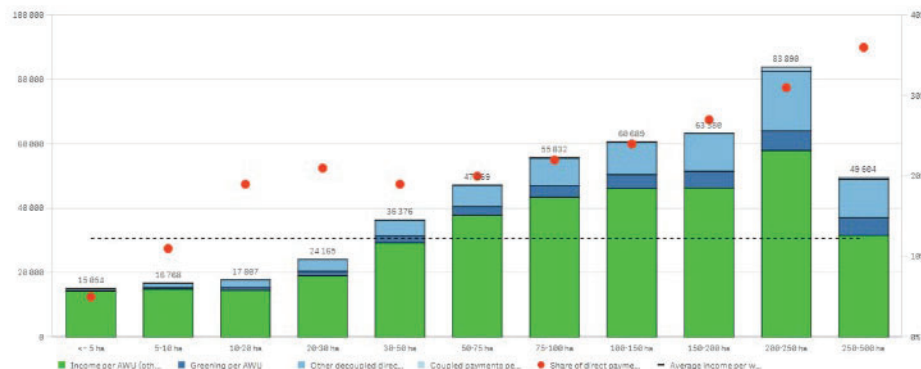
- AWU当たりの所得が最も高いのは500-1000haの経営体である
- AWU当たりの環境支払い、直接支払いの割合は500-1,000haの経営体が最も多い



## 調査対象国の農業概況⑤ 農地規模別の主要な収入源 (AWU—単位当たりの所得ベース)

### オーストリア

- AWU当たりの所得が最も高いのは200-250haの経営体である
- AWU当たりの環境支払い、直接支払いの割合は200-250haの経営体が最も多い



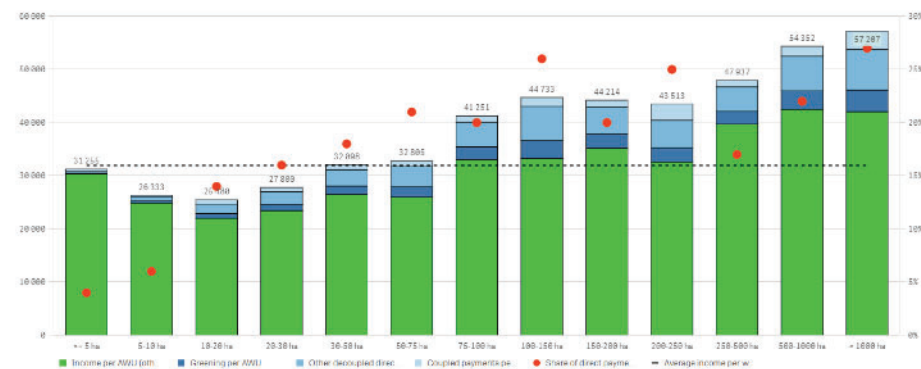
### ポーランド

- AWU当たりの所得が最も高いのは250-500haの経営体である
- AWU当たりの直接支払いの割合は5-20haの小規模農家であり、ドイツやフランスと比較し小規模農家の直接支払受給率が高い



### スペイン

- AWU当たりの所得が最も高いのは500ha以上の経営体である
- AWU当たりの環境支払い、直接支払いの割合は100ha以上の経営体が多い



## 調査対象国の農業概況⑥ 主要農産物の生産状況 (2023年)

## ドイツ

- 主要農作物は、てんさい、穀物（小麦・大麦）、じゃがいも
- 主要畜産物は、生乳、豚肉

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
てんさい	2,973	2,862	3,195	2,820	3,156
小麦	2,306	2,217	2,146	2,259	2,154
じゃがいも	1,060	1,172	1,131	1,068	1,161
大麦	1,159	1,077	1,041	1,121	1,100
とうもろこし	366	402	446	384	450
菜種	283	353	350	429	422
生乳（牛）	3,308	3,316	3,251	3,240	3,401
豚肉	523	512	497	449	421

## フランス

- 主要農作物は、穀物（小麦・大麦）、てんさい
- 主要畜産物は、生乳

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
小麦	4,060	3,018	3,656	3,463	3,600
てんさい	3,802	2,616	3,437	3,150	3,058
とうもろこし	1,285	1,373	1,536	1,088	1,283
大麦	1,357	1,028	1,132	1,129	1,214
じゃがいも	856	882	899	807	861
ぶどう	549	586	507	620	621
菜種	352	329	331	452	428
生乳（牛）	2,506	2,523	2,476	2,461	2,388

## オランダ

- 主要農作物は、てんさい、穀物（小麦・大麦）、じゃがいも
- 主要畜産物は、生乳、豚肉、鶏肉

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
てんさい	664	669	656	726	694
じゃがいも	696	702	668	692	649
玉ねぎ	174	170	192	150	161
小麦	113	93	95	116	110
トマト	91	91	88	77	73
生乳（牛）	1,456	1,452	1,422	1,453	1,469
豚肉	163	166	172	168	146
鶏肉	104	100	87	86	85

## イタリア

- 主要農作物は、ぶどう、小麦、トマト、とうもろこし等
- 主要畜産物は、生乳

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
ぶどう	790	822	815	844	667
小麦	674	672	729	661	689
トマト	578	625	664	614	602
とうもろこし	628	679	608	470	535
りんご	230	246	221	226	227
オリーブ	219	221	227	216	240
オレンジ	165	177	177	178	184
生乳（牛）	1,249	1,271	1,320	1,318	1,306

## 調査対象国の農業概況⑥ 主要農産物の生産状況 (2023年)

## オーストリア

- 主要農作物は、てんさい、穀物（小麦・とうもろこし）等
- 主要畜産物は、生乳、豚肉

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
てんさい	197	209	302	271	268
とうもろこし	230	241	243	211	211
小麦	160	165	155	171	174
じゃがいも	75	89	77	69	59
ぶどう	31	32	33	34	31
ライ小麦	33	33	27	29	30
生乳（牛）	378	382	383	394	368
豚肉	50	50	50	48	45

## ポーランド

- 主要農作物は、てんさい、穀物（小麦・とうもろこし）等
- 主要畜産物は、生乳・家禽

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
てんさい	1,384	1,495	1,527	1,415	1,694
小麦	1,081	1,252	1,189	1,320	1,293
とうもろこし	366	669	732	834	898
じゃがいも	648	786	708	603	559
ライ小麦	450	609	535	544	528
りんご	308	356	407	426	389
菜種	227	298	305	349	358
生乳（牛）	1,450	1,482	1,488	1,521	1,548

## スペイン

- 主要農作物は、オリーブ、ブドウ、穀物（大麦・小麦）等
- 主要畜産物は、生乳、豚肉

(単位：万トン)	2019	2020	2021	2022	2023
大麦	774	1,147	928	703	376
小麦	604	814	856	651	405
オリーブ	597	814	826	394	510
ぶどう	575	682	609	590	482
トマト	500	431	475	365	397
とうもろこし	418	421	460	359	284
生乳（牛）	746	761	762	745	756
豚肉	464	500	518	507	487

## 2

### EU 共通農業政策（CAP）に関する調査・動向分析

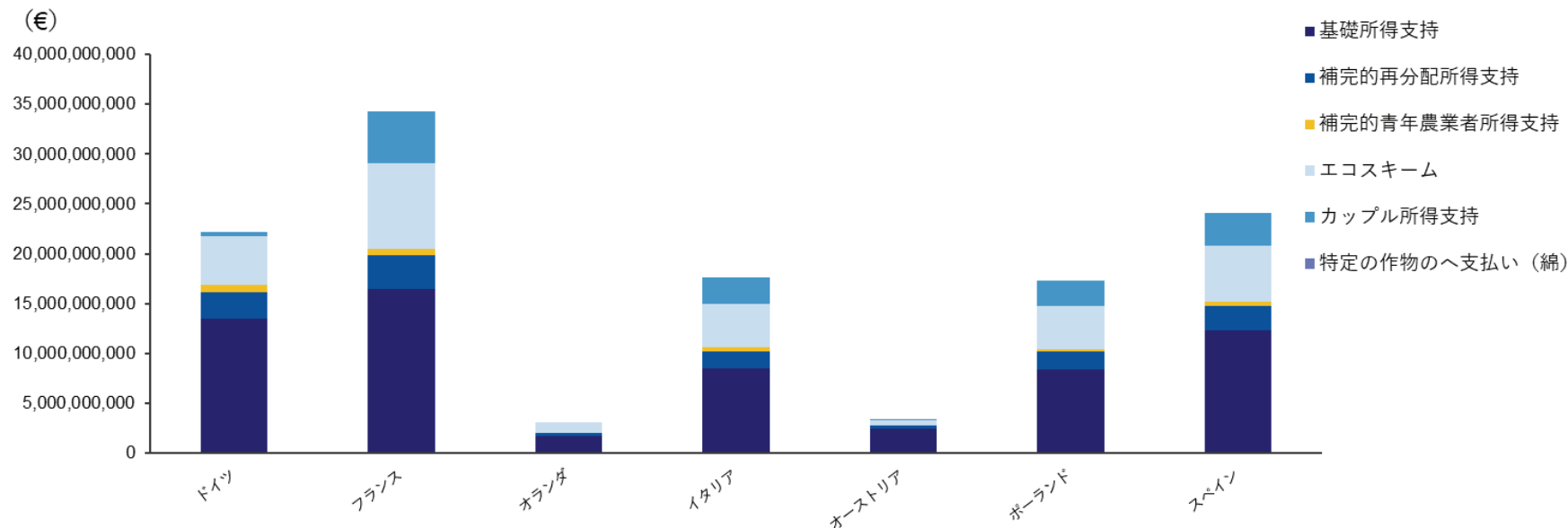
#### 1. 調査の概要

- (1) 調査項目 …p.108
- (2) 調査対象国の農業概況 …p.111
- (3) 調査対象国のCAP予算額（2023年～2029年）の比較 …p.132

## ① 直接支払への予算配分

- 2023~2029年の直接支払の予算配分総額は、フランスが最も多く341億€である。次いでスペイン、ドイツ、イタリア、ポーランド、オーストリア、オランダの順である。

2023~2029年における直接支払予算総額の内訳 (単位：千€)

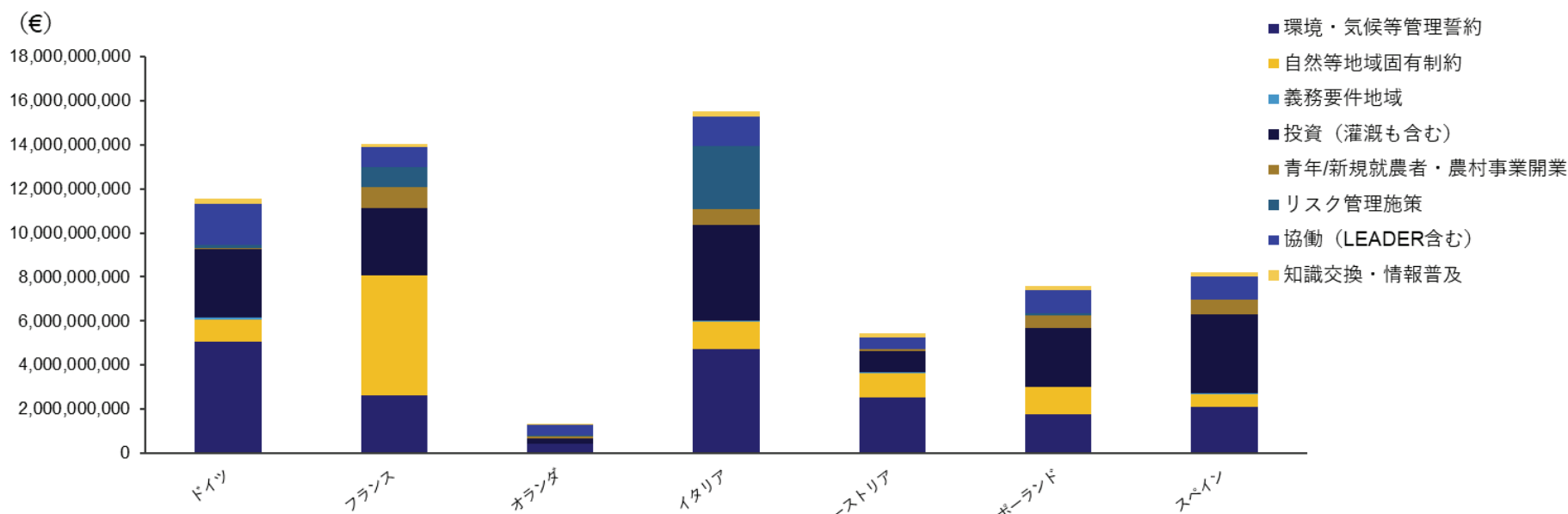


施策名	ドイツ		フランス		オランダ		イタリア		オーストリア		ポーランド		スペイン	
基礎所得支持	13,517,917	60.9%	16,470,722	48.1%	1,692,610	55.9%	8,451,602	48.0%	2,387,972	70.5%	8,393,530	48.4%	12,305,844	51.0%
補完的再分配所得支持	2,574,841	11.6%	3,422,996	10.0%	303,067	10.0%	1,760,750	10.0%	338,791	10.0%	1,822,468	10.5%	2,414,164	10.0%
補完的青年農業者所得支持	737,354	3.3%	618,558	1.8%	23,008	0.8%	352,150	2.0%	71,146	2.1%	178,046	1.0%	482,833	2.0%
エコスキーム	4,935,112	22.2%	8,582,935	25.1%	1,008,890	33.3%	4,401,876	25.0%	500,000	14.8%	4,333,685	25.0%	5,552,578	23.0%
カップル所得支持	429,140	1.9%	5,134,449	15.0%	0	0.0%	2,641,126	15.0%	90,000	2.7%	2,599,011	15.0%	3,386,133	14.0%
特定の作物のへ支払い (綿)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	22,194,365	100.0%	34,229,661	100.0%	3,027,574	100.0%	17,607,505	100.0%	3,387,909	100.0%	17,326,740	100.0%	24,141,552	100.0%

## ②農村振興への予算配分

- 各国の農村振興施策に対する予算配分を比較すると、予算総額はイタリアが最多である

2023~2029年における農村振興予算総額の内訳 (単位：千€)

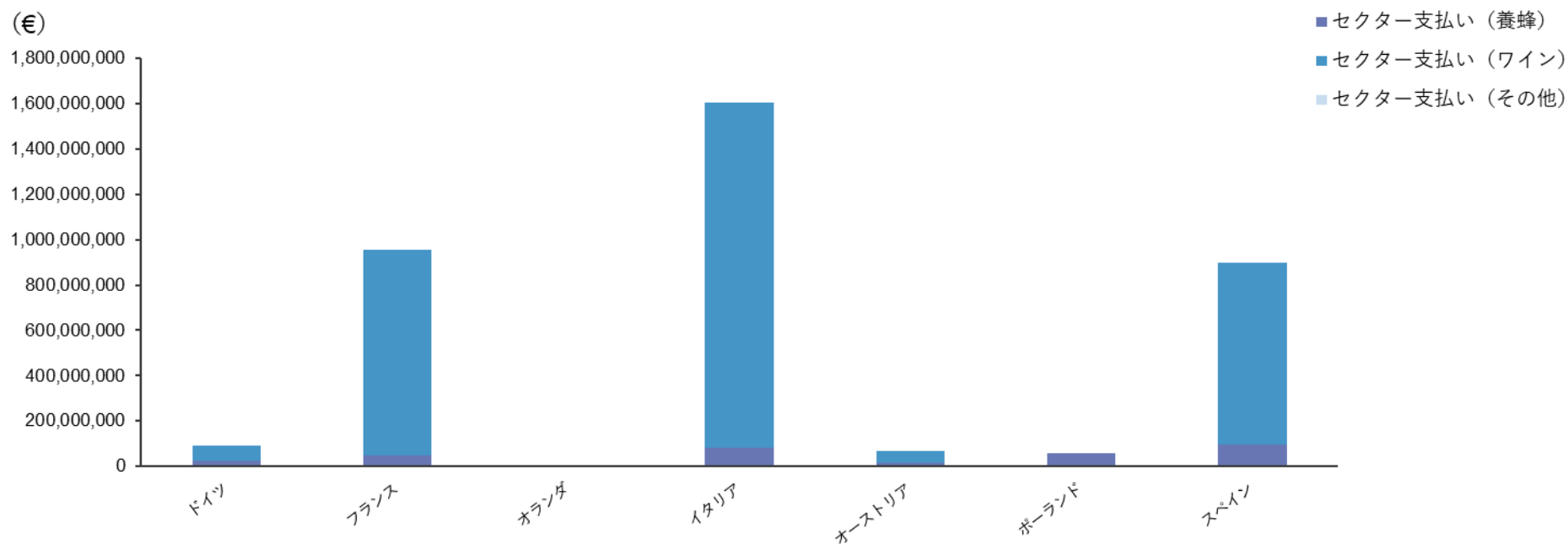


施策名	ドイツ		フランス		オランダ		イタリア		オーストリア		ポーランド		スペイン	
環境・気候等管理誓約	5,045,329	43.7%	2,606,319	18.6%	410,400	31.0%	4,707,217	30.3%	2,552,300	46.7%	1,741,777	22.9%	2,081,339	25.4%
自然等地域固有限制	1,019,071	8.8%	5,462,585	39.0%	0	0.0%	1,263,323	8.1%	1,095,000	20.0%	1,284,373	16.9%	603,989	7.4%
義務要件による地域固有の不利	96,601	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	32,363	0.2%	8,700	0.2%	0	0.0%	47,066	0.6%
投資 (灌漑も含む)	3,097,935	26.9%	3,061,531	21.8%	253,935	19.2%	4,338,402	27.9%	979,747	17.9%	2,636,178	34.7%	3,569,129	43.6%
青年/新規就農者・農村事業開業	34,913	0.3%	938,703	6.7%	74,650	5.6%	742,199	4.8%	78,440	1.4%	572,933	7.5%	661,699	8.1%
リスク管理施策	143,167	1.2%	933,159	6.7%	87,500	6.6%	2,850,881	18.4%	0	0.0%	105,908	1.4%	0	0.0%
協働 (LEADER含む)	1,877,683	16.3%	883,931	6.3%	437,774	33.1%	1,362,974	8.8%	527,500	9.7%	1,047,750	13.8%	1,047,889	12.8%
知識交換・情報普及	217,840	1.9%	137,721	1.0%	57,746	4.4%	229,820	1.5%	220,322	4.0%	200,998	2.6%	181,559	2.2%
合計	11,532,539	100.0%	14,023,949	100.0%	1,322,005	100.0%	15,527,179	100.0%	5,462,010	100.0%	7,589,917	100.0%	8,192,670	100.0%

### ③セクター支払への予算配分

- セクター支払については、イタリアが最も予算を多く配分しており、約16億ユーロを配分。
- ワインに対するセクター支払いは、イタリアに加え、フランス、スペインでも多く割り当てられている。

2023~2029年におけるセクター支払予算総額の内訳 (単位：千€)



施策名	ドイツ		フランス		オランダ		イタリア		オーストリア		ポーランド		スペイン	
セクター支払い (養蜂)	22,791	24.5%	50,352	5.3%	2,702	100.0%	83,781	5.2%	14,222	21.3%	59,604	100.0%	93,686	10.4%
セクター支払い (ワイン)	70,344	75.5%	903,897	94.7%	0	0.0%	1,518,915	94.8%	52,620	78.7%	0	0.0%	804,759	89.6%
セクター支払い (その他)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	93,135	100.0%	954,249	100.0%	2,702	100.0%	1,602,696	100.0%	66,842	100.0%	59,604	100.0%	898,445	100.0%